

## ExTLA Lite ver.1.4 ヴァージョンアップ内容について

2013.10.31 東京大学 前研究室

### ■ ExTLA 1.3 から ExTLA Lite 1.4.0 の主な変更点 (2013.10.22 アップデート)

バグについて)

- ・各地の気象データの日射量に不適切な値が入っていたのを修正しました。
- ・Q 値計算時の各部材の熱伝導率値・室外側総合熱伝達率等が、負荷計算で用いている値と揃っていなかったのを統一しました。
- ・開口部の寸法入力値を実際の 1000 倍として計算してしまっていたために、正しい寸法で計算するように修正しました。
- ・case2 から case1 に仕様をコピーした際に、窓 2 の内部計算に不備があるために以降の操作で妥当な計算結果が出なくなる、というバグを修正しました。
- ・壁 1 の面積計算が間違っていたので修正しました。

仕様の変更について)

- ・部位ごとの取得熱量・損失熱量のグラフ表示を追加しました。
- ・壁面よりも大きい開口部を入力した際に、不適切な入力である旨の警告が出るようにしました。

### ■ ExTLA Lite 1.4.0 から ExTLA Lite 1.4.1 の変更点 (2013.10.31 アップデート)

- ・室内熱収支の表示を窓からの日射取得がわかるようにしました。
- ・暖冷房設定温度と運転スケジュールについての説明を追加しました。なお、1.4.0 までは冷房設定温度は 6:00~23:00 に 27℃設定となっていたのですが、1.4.1 では冷房時は共通して 28℃設定としています。